

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2453 号

Effect of telling patients their “Spirometric-lung-age” on smoking cessation in Japanese smokers

(禁煙外来における日本人喫煙者に対する “肺年齢” を伝える効果についての検討)

高木 陽 (たかぎ はるひ)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、禁煙外来における禁煙達成率向上を目的として新たな動機付けを行うためのデバイスとして肺年齢に着目し、その有用性を検討している。

肺年齢を計測してその結果を患者に伝える群と伝えない群に割り付けて、禁煙外来終了時と禁煙外来終了1年後の禁煙達成率を比較している。結果は肺年齢群で禁煙達成率がよい傾向が見られた。また、バレニクリン使用した患者と年齢の高い患者において、肺年齢群が禁煙成功に寄与する因子であることが分かった。

2020年東京オリンピックを控え、公衆衛生的にも喫煙環境が社会に及ぼす影響は大きい。このため、禁煙外来での禁煙成功率の向上は必要である。本研究は日本人の禁煙成功率向上に貢献する可能性の高いデバイスの価値を紹介していると思われる。低侵襲で禁煙成功率を向上させる方法の提案としては、リーズナブルな研究であったと考え、今後の禁煙外来の将来性を垣間見ることができた。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。